



休眠預金等活用法による新型コロナウイルス対応緊急支援助成 第1期公募の内定団体が決定しました

令和2年8月11日(火)から9月11日(金)までの期間で第1期公募を行った休眠預金等活用法に基づく新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業「コロナに負けない・越える信州緊急助成事業」について、県内15団体から申請がありました。

このことについて、厳選なる審査の結果、次のとおり第1期実行団体を内定しました。

1 第1期公募 審査について

- 公募期間：令和2年8月11日(火)から9月11日(金)まで
- 内定団体数/申請団体数：10/15団体
- 助成内定総額：2,934万円(一団体当たり200~300万円)
- 審査方法：申請団体へのヒアリング及び第三者審査会による審査

2 内定実行団体実施事業について

コロナ禍において新たな生活上の困難を抱える人々の増加、行政が対応困難な社会的課題の増加など、地域の社会的課題解決に取り組む様々な取り組みに助成されます。

《第1期内定実行団体事業一覧》

- 障がい者支援事業「コロナ対策、障碍児者の社会参加農園造り」(NPO法人てくてく)
- 健康支援事業「コロナを乗り越える健康づくり」(NPO法人日本チェルノブイリ連帯基金)
- 就労支援事業「住居支援付き就労支援事業」((社福)県社会福祉協議会)
- 犯罪被害者支援事業
 - 「新型コロナウイルス感染防止を講じた被害者支援」(NPO法人県犯罪被害者支援センター)
- 子ども支援事業(フリースクール事業等)
 - 「コロナ禍の発達特性のある子ども・若者支援」(NPO法人子どもサポートチームすわ)
 - 「食・学びの子どもの温かい居場所づくり」(NPO法人こどもの未来をかんがえる会)
 - 「自然楽校事業」(NPO法人フリーキッズ・ヴィレッジ)
 - 「子どもと子育て家庭への緊急支援事業」(NPO法人まちの縁側なから)
 - 「こどもの居場所づくり事業『とんぼ』」((社福)まるこ福祉会)
 - 「コロナでもみんな笑顔のフリースクール事業」((一社)フォースマイル)

※事業の詳細については、当財団ホームページをご覧ください。

<https://www.mirai-kikin.or.jp/crown-program/1307/>

3 第2期公募について(予定)

不採択となった申請も、コロナ禍における地域の重要な事業提案でありました。

本緊急支援助成は、次のとおり第2期公募を予定しています。

コロナの影響が更に広がる中、新たな課題への活動や既存の地域活動のコロナ対応など、真摯な活動への助成金となりますので、ご検討ください。

- 募集期間：令和2年12月4日(金)から令和3年1月12日(火)まで
- 内定予定団体数：10団体
- 助成予定額：一団体当たり200~300万円
- 助成期間：契約から1年間

公益財団法人 長野県みらい基金

(理事長) 高橋 潤 (担当) 百瀬 貴文

(松本事務所)

〒390-0852 松本市大字島立1020 長野県松本合同庁舎2階

電話：0263-50-5535(内線2814) FAX：0263-50-6561

E-mail：matsumoto@mirai-kikin.or.jp